

教 育 研 究 業 績 書		
平成 年 月 日		
氏名 青 柳 寛 之 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
臨床心理学	ロールシャッハテスト、精神分析的心理療法、風土臨床	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 健康心理アセスメント	平成26年10月 ～平成28年1月	ロールシャッハテストに関する教授法。反応をカードに書き出して類似のものに分類したのちにコード化を行う。初学者にも取り組みやすくするための工夫
2 作成した教科書、教材 臨床心理学ⅢB、心理療法論、深層心理学 臨床心理学特論（前期） カウンセリング心理学	平成16年10月 ～平成25年7月 平成25年4月～ 現在 平成25年10月 ～現在	力動的な心理療法の成立と歴史について、広範な画像や写真を収集し、教材を作成した 心理療法のプロセスについて、無意識を想定する諸学派の考え方を解説する際の、実例を含む教材を作成した 言語を主たる手段としない心理療法の技法についての解説をする際の、実例を含む教材を作成した
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
きらきら子育て講座「1歳児の心の世界と子育て」 ひょうご講座「心の発達とカウンセリング」 心理学部開設記念 子どもの発達を考える講座「発達障害の人が体験している世界」 インターカレッジ西宮 「夢と深層心理学」 ひょうご講座「描画や夢を通して知る、私の知らない私、私の無意識の世界」 甲子園大学春季市民公開講座「臨床心理学のものの見方」 阪神シニアカレッジ「聴くことと心の健康」 甲子園大学心理学部公開講座 「不思議現象と臨床心理学」 インターカレッジ西宮「土地が持つイメージネーションについて」	平成17年6月以降毎年2～3回 平成13年6月8、15日 平成23年1月29日 平成23年9月15日 平成23年10月17、24日 平成27年3月16日 平成27年6月16日、平成28年6月7日 平成28年6月25日 平成28年9月1日	宝塚市子ども家庭支援センターでの講演 主に母子の波長合わせ、情緒的交流について ひょうご講座における講演（2回）思春期と青年期の発達と、心理的課題、支援について 主に軽度発達障害の人がどのように周りを捉えているかを解説 インターカレッジ西宮 大学共同講座 講師 夢の取り扱いの歴史、夢の活用法について ひょうご講座における講演（2回）PFスタディの解説と実習 市民対象の講座 自然科学と臨床心理学のものとのとらえ方の違いを解説 甲子園大学での講義 「聴く」ことの心理学的意味と、傾聴の実習 高校生と一般市民を対象とした講座 人の心のあり方における「不思議現象」の意味を解説 インターカレッジ西宮 大学共同講座 講師 土地や場所が喚起する感情やイメージについて
5 その他		
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 臨床心理士（06429号）	平成9年4月1日	公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の資格
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		

4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. 風土臨床—沖縄との関わりから見えてきたもの—	共著	平成18年11月	コスモス・ライブラリー	第2章第3節「風土臨床—自然から受け取り、お返しすること」を分担執筆(青木真理編著) 自然環境と心の関連について、沖縄の伝統的世界観を手がかりに検討した。
(学術論文) 1. 身体像境界の二側面と自我機能—『境界』型の類別化による検討—	単著	平成5年11月	ロールシャッハ研究 XX V	フィッシャーとクリーブランドの身体像境界得点を用い、身体像の防壁的側面と浸透的側面の比率から「境界型」を4種に類別化し、両側面の組み合わせり方と自我機能の関連を検討した。
2. 自己心理学からみたスチューデント・アパシー—その病因と人格構造—	単著	平成8年3月	京都大学学生懇話室紀要第25輯	スチューデント・アパシーの病因について、コフートの自己心理学の観点から検討した。当人の情緒的ニーズとかけ離れた過剰刺激が与えられる関係を病因として検討した。
3. 人とかかわれないという青年男性の事例	単著	平成8年3月	臨床心理事例研究 京都大学教育学部心理教育相談室紀要 第23号	相談事例についての臨床的検討
4. 競争心についての一考察	単著	平成9年2月	甲南大学学生相談室紀要第4号	競争心一般について精神分析学の観点から考察した。「建設的競争心」と、「破壊的競争心」の二型を抽出し、その内的世界の構造的把握を試みた。
5. ビオンにおけるContainer / Contained論の変遷	単著	平成9年3月	京都大学教育学部紀要第43号	英国の精神分析家ビオンのContainer (器) / Contained (中身) の考え方の特異性と、その概念的変遷について検討した。
6. 同一化と意識の二重化について	単著	平成13年2月	甲南大学学生相談室紀要第8号	自己自身を眺めるメタ的視点が、同一化を介してどのように形成されるか、また、それに関連する病理について検討した。
7. グループワークとしての七輪陶芸	単著	平成15年2月	甲南大学学生相談室紀要第10号	七輪陶芸の紹介と、グループワークとして行った場合の意味について検討した。
8. 社会的背景からみた青年期の現代的特性	単著	平成18年3月	甲南大学総合研究所叢書87	精神科医の安永浩が提唱する、社会変容についてのモデルを手がかりに、青年期心性の現代的特性について検討した。
9. ケースカンファレンスを検討する上でのいくつかの論点—特に事例報告者の視点から	単著	平成19年3月	甲子園大学発達・臨床心理センター紀要 第2号	ケースカンファレンスについて検討する上で、どのような論点があり得るかをレビューした。
10. 甲子園大学の子育て支援関連活動	単著	平成21年3月	甲子園大学発達・臨床心理センター紀要 第4号	甲子園大学発達・臨床心理センターで実施してきた子育て支援に関連する活動を、データとともに示し、その内容について検討を加えた。
(その他) 1. (翻訳) 暗黒の影にはぐくまれて 片子コンプレックスの変容 (リース・滝・サチコ著)		平成7年	箱庭療法学研究 第8巻第2号	学会誌に掲載された論文の翻訳
2. (学会発表) 人格アセスメントにおける解釈過程に関する研究—ロールシャッハ・テストを用いて—	—	平成9年9月	日本心理臨床学会 第16回大会(東北大学、仙台)	(森田慎氏と共同発表) ロールシャッハテストの知識がない者に実際のプロトコルを見せ、理論的には全くの白紙のまま、人格理解を構成する過程を検討した。
3. (学会発表) 人格アセスメントにおける解釈過程に関する研究—バウムテストを用いて—	—	平成14年9月	日本心理臨床学会 第21回大会(中京大学、名古屋)	(森田慎氏と共同発表) バウムテストの知識がない者に実際の描画を見せ、理論的には全くの白紙のまま、人格理解を構成する過程を検討した。
4. (翻訳) 自己心理学の臨床と技法—臨床場面におけるやり取り (ジョゼフ・D. リヒテンバーグ/フランク・M. ラクマン著)		平成18年7月	金剛出版	第8章「性欲、好意、そして性愛化—性的虐待の治療に含まれていること」を分担翻訳(角田豊監訳)